

IPランドスケープを通じた知財経営の普及・実践支援事業

令和4年度概算要求額 1.0億円（新規）

事業の内容

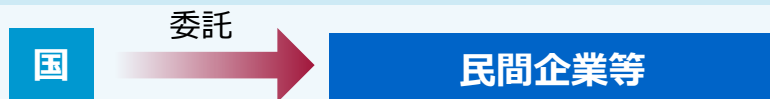
事業目的・概要

- IPランドスケープ(IPL)は、知財や市場等の情報を分析し、自社の強みや市場での位置づけを見える化し、経営戦略・事業戦略に活かす取組で、企業の迅速・的確な経営判断に有用です。
- また、コーポレートガバナンスコードの改訂により、投資家等に対して知財情報を適切に開示する必要性が生じることから、今後ますますIPLを通じた知財経営の必要性が高まることとなります。
- 他方で、IPLを始め、経営層の知財への意識・理解は必ずしも進んでおらず、企業の競争力の源泉となる知財を活用できていないのが実態です。
- 本事業では、経営層やその候補者等を対象とするIPLを通じた知財経営コンサルタントや経営層やその候補者等による座談会等を通じて、知財経営の普及・実施の支援を行います。

成果目標

- (1) 知財経営・IPLコンサルタント派遣先企業において、コンサルタントの結果が経営戦略又は事業戦略に影響を与えた企業数を60%以上とします。
- (2) 知財経営の在り方に関する提言及び知財経営リテラシーに関するチェックリストの策定等を行います。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

